

2022年度 海岸工学論文賞および海岸工学論文奨励賞

【海岸工学論文賞】

論文番号 21

可能最大高潮モデルを用いた HighResMIP 実験にもとづく日本沿岸の高潮リスクの将来変化予測

伊藤 駿・森 信人・志村智也・宮下卓也

論文番号 109

高頻度 UAV 観測に基づく砂礫海浜変動特性の解明

佐藤慎司

論文番号 169

東京湾奥部港湾域における冬季の二酸化炭素分圧の連続観測

遠藤雅実・SUN Jing・佐々木 淳

【海岸工学論文奨励賞】

論文番号 29

深層生成モデルを用いた面的波浪予測に関する基礎的研究

増田和輝（共著者：金澤 剛）

論文番号 96

診断的土砂輸送・地形変動モデルの開発と明石海峡周辺海域への適用

乳原 材（共著者：内山雄介・小畷大地）

論文番号 192

d4PDF を用いた設計波高の将来変化の効率的な推定手法

野村明弘（共著者：佐藤典之・石川浩希・早川哲也・岩崎慎介・大塚淳一・森 信人・渡部靖憲）

【招待論文】

論文番号 40

河川津波の3次元数値解析

柿沼太郎・楠原 嘉



(1日目)
土木学会CPD認定プログラム
JSCE22-1150 2.4単位

(2日目)
土木学会CPD認定プログラム
JSCE22-1151 5.9単位

(3日目)
土木学会CPD認定プログラム
JSCE22-1152 5.9単位

(4日目)
土木学会CPD認定プログラム
JSCE22-1153 4.7単位

(海岸工学企画セッション)
土木学会CPD認定プログラム
JSCE22-1154 1.9単位

(海岸工学見学会)
土木学会CPD認定プログラム
JSCE22-1155 2.0単位

「第69回海岸工学講演会」のご案内 2022年11月8日[火]ー11日[金]

海岸工学講演会は、神戸市で第1回（1954年）を開催して以来、今回で69回となります。多数の参加者のもとで、多数の論文発表が行われ、活発でかつ有用な会議となっています。今回の発表数は226編で、ヴェルクよこすか（横須賀市）およびオンラインのハイブリッドで開催することになりました。つきましては、斯界の研究者、技術者の皆様方、また、今後の斯界を担う院生、学生の方々の多数のご参加をお願いいたします。なお、詳細については、海岸工学委員会のホームページ（<http://www.coastal.jp/ja/>）をご覧ください。

- 主 催：土木学会（担当：海岸工学委員会）
- 後 援：国土交通省関東地方整備局、横須賀市
- 期 日：2022年11月8日（火）～11日（金）
- 会 場：ヴェルクよこすか（横須賀市立勤労福祉会館）（横須賀市日の出町1-5、京浜急行 横須賀中央駅から徒歩約8分、アクセスの詳細は <https://www.werk-yokosuka.com/access.html> を参照）およびオンライン
- DVD「海岸工学講演会2022」の販売について：
刊行形態はDVDとなります。なお、著者（各論文の連絡者1名）の方にはDVD「海岸工学講演会2022」を1部お送りいたします。事前購入も受け付けます。今回は現地会場でのDVD販売は行いませんのでご注意ください。
※重複お申込みにご注意ください。
事前購入については、10月25日（火）17時までにお申込みの方には、講演会前に届くように発送しますが、できる限り余裕をもってお申込みください。申し込み方法は海岸工学委員会ホームページ（<http://www.coastal.jp/ja/>）でご案内しています。
問合せ先：研究事業課 担当：林 TEL：03-3355-3559
- 発表時間：1題当たり発表時間12分、討議時間8分です。
- 発表方法
オンラインでの発表：講演者は指定されたZOOMに接続し、画面共有して発表して頂きます。事前収録した発表動画の再生を希望する場合はご連絡ください。
現地会場での発表：講演者は会場に準備されたパソコン（PowerPoint 2016以降、OS: Windows 10以降、USBポートあり）を使用し、対面形式で発表します。その際、指定されたZOOMに接続し、画面共有して頂きます。

【海岸工学企画セッション】

1. 日時：2022年11月8日（火）13時10分～15時00分
2. 場所：オンライン開催
3. 内容：海岸工学の魅力を語る・若手からの意見と現場からのアドバイス

【見学会】

1. 日時：2022年11月8日（火）15時10分～16時40分
2. 場所：港湾空港技術研究所（横須賀市長瀬3-1-1）
3. 内容：実験施設の見学（大規模波動地盤総合水路、三次元水中振動台など）
4. 定員：38名

●海岸工学講演会、海岸工学企画セッション、見学会への参加方法

それぞれの行事ごとに、土木学会ホームページの行事案内 (<https://www.jsce.or.jp/events/>) にて「海岸工学」で検索から事前の登録が必要です。各行事の登録後、現地会場での参加は直接、会場へお越しください。オンラインでの参加については、開催までに参加方法をお知らせいたします。現地会場およびオンラインのどちらも参加無料です。

●問合せ先

土木学会研究事業課 林 TEL：03-3355-3559

海岸工学委員会からのお知らせ

小委員会からのお知らせ

・CEJ 小委員会

Coastal Engineering Journal (CEJ、2021年インパクトファクター3.289) は CEJ 小委員会が主に査読・編集を行い、英国 Taylor & Francis 社 が販路・発行・販売する、64年の歴史を有する SCI 国際ジャーナル誌です。原著論文のほかにも技術報告や現地調査報告に関する投稿カテゴリーが用意されており、海岸工学に関わる幅広いテーマの研究論文を取り扱っています。毎年テーマを絞った特集号も発行しており、2022年は「Coastal Hazards and Risks due to Tropical Cyclones」、2023年は「Coastal Disasters in Asia: Forecasting, Uncovering, Recovering, and Mitigation」、2024年は「Progress of Ocean Wave Measurements」について特集します。海岸工学講演会では、土木学会論文集特集号のほか、CEJ 投稿論文を本論文として講演することも可能です。購読・投稿方法、編集委員リスト等の詳細情報については、以下のサイトをご覧ください。
<https://www.tandfonline.com/journals/tcej20>

・沿岸まちづくりにおける経済学的手法研究小委員会

本小委員会では、今後予想される海面上昇と高潮・高波による被害の拡大に対応する最適な沿岸まちづくり施策について研究することを目的としています。厳しい財政制約の中で不確実性の高い気候変動に適応していくには、堤防高上げによる海岸整備のみならず高台移転などの陸側での施策も必要です。施策のオプショ

ンを積み上げたいうえで、どの施策をどのタイミングでどの程度の規模で行うかが重要になってきます。将来に実現し得るシナリオを網羅的に考慮しながら、海岸施設整備の組合せや、堤防高上げのタイミングと高さおよび回数、養浜の頻度と規模、高台移転等の土地利用施策について、タイミングと施策の組み合わせの最適化手法を示すこと目指しています。詳細については、以下のサイトをご覧ください。

<https://coastal.jp/about/subcommittee/economical-method-subcommittee/>

・沿岸災害デジタルツイン研究小委員会

近年の海洋・沿岸環境のセンシング手法の高度化、モニタリングデータの大規模化とリアルタイム流通、計算機性能・手法の高度化、機械学習を核とするデータ駆動科学の進展を背景に、様々な分野において「デジタルツイン」の有効性が実証されています。本研究小委員会は、デジタルツインコンピューティングのパラダイムを海岸工学に導入することで新たな研究課題を探索するとともに、周辺の学術分野とも連携しながら、新たな海岸工学の地平を拓くことを目的として、2022年度に活動を開始しました。小委員会の詳細については以下をご覧ください。
<https://coastal.jp/about/subcommittee/>

・広報・出版・web開催小委員会

広報・出版・web開催小委員会では、海岸工学委員会のサイトで「海岸工学にまつわる本の紹介コラム」(<https://coastal.jp/info/books/>) を掲載しています。現在、25の書籍が紹介されています。ぜひご覧ください。

企業のみなさまへのお願いです。DVD「海岸工学講演会」に収録される業界案内、および講演プログラムの広告枠をご活用頂き、海岸工学講演会の開催により一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

研究会の紹介

現在、以下の4つの研究会が活動中です。

- ・波動と地盤の複合場における地盤材料の取扱方法に関する研究会
- ・沿岸域における気候変動適応策に関する研究会
- ・波動モデル研究会
- ・地域研究活性化 WG

各研究会の詳細は、以下のサイトをご覧ください。

<https://coastal.jp/about/working-group/>



APAC, International Conference on Asian and Pacific Coasts 開催のお知らせ

2023年11月14日～17日の日程で、京都テルサにて第11回 International Conference on Asian and Pacific Coasts (APAC) が開催されます。Abstractは、webサイトよりオンライン投稿で受付期間は、2022年11月1日～2023年1月10日です。

詳細については、以下の APAC 2023 のサイトをご覧ください。

<https://coastal.jp/english/apac/apac2023/>